

人類学演習Ⅲ 談話会

4月22日(金)

16:30~18:00

場所: 201号室

演者: 針原伸二 先生

(人類生物学・遺伝学研究室 助教)

演題: ミトコンドリア DNA からみた「渡来系弥生人」

要旨

日本人の成立について、ミトコンドリア DNA の多型から考察してきたが、RFLPs の結果からは日本人の成立により大きく寄与したと思われる弥生時代以降の渡来者はモンゴルやシベリアなどの北方寒冷地域から来たとは言い難いことが示唆された。

この数年来の住 斉 (すみ ひとし) 氏 (客員共同研究員) を中心とした岐阜県飛騨地方の集団を対象としたミトコンドリア DNA ハプログループに関する研究より、各地域で縄文系と渡来系 (弥生系) の比率を求めうることが示された。さらにこの比率に基づいて、各地域での「縄文系」と「渡来系」のハプログループの頻度分布も求めることも可能であり、「渡来系」の集団のハプロタイプ構成には韓国人のハプロタイプ分布との類似性がみられた。

担当 田宝 玄人 (石田研究室)